

休館中に3つの共催展を実施しました

碓 井 徹

大規模工事のために長瀬町にある博物館自体では展示活動が1年間ほどできませんでしたが、今年度は県内の他の施設の協力を得て3つの共催展を開催しました。

1. 共催展『特定外来動物にご注意』

会場：春日部市郷土資料館

会期：平成24年3月17日～6月10日 67日間

観覧者総数：2,078人

テレビなどでもしばしば取り上げられるようになってきた外来動物の中でも、特に『特定外来動物』という位置づけで捕獲や飼育に法律上の制限があるアライグマとカミツキガメを中心に据えた展示をしました。テレビの映像では伝わりにくいこれらの動物の大きさやツメの鋭さなど、本物の剥製ならではのインパクトが大好評でした。

会場には、熊谷市在住の昆虫研究家によるたくさんの昆虫標本やトンボが飛んでいるところを撮影したすばらしい生態写真も多数展示され、多くの観覧者の目を楽しませていました。

会期中には、当館に博物館実習に来ている3人の大学生も見学を訪れ、学芸員による展示説明を熱心に聞く姿も見られました。



春日部市郷土資料館での展示の様子

2. 共催展『武蔵野の雑木林と春の息吹』

会場：三芳町立歴史民俗資料館

会期：平成24年3月24日～5月20日 47日間

観覧者総数：2,478人

すばらしい雑木林を有する三芳町での共催展ということで、人と雑木林の深い関わりあいに焦点を当てながら、雑木林が育てている多様な動物や植物を、哺乳類や鳥類の剥製、昆虫標本、植物の押し葉標本、生態写真などで紹介しました。

この展示に関連する普及事業として当館職員が講師になって同館近くの雑木林で実施した観察会でも、春の雑木林に息づく様々な植物や昆虫を観察することができました。



三芳町歴史民俗資料館での展示の様子

3. 共催展『自然科学展 ～さいたまの多様な生き物たち～』

会場：熊谷市立熊谷図書館

会期：平成24年7月21日～9月2日 38日間

観覧者総数：5,345人

広いスペースをもつ同館の美術展示室に200体を超える哺乳類や鳥類の剥製をズラリと並べて、多様な自然環境をもつ埼玉県の豊かな動物相が理解できる共催展を企画しました。



共催展会場で学芸員の解説を聞く実習生
(熊谷市立熊谷図書館にて)

(うすい とおる・担当課長)